

1 事業の概要

(1) 事業名

愛知県におけるフィリピン人コミュニティ・リーダー研修
「あなたの住む地域について知ろう! (Know Your Community!)」プログラム

(2) 事業の目的・概要

本事業の目的

本事業は、愛知県に在住するフィリピン人コミュニティ・リーダーや、今後コミュニティ活動を実施したいと考えているフィリピン人住民を対象とし、行政の仕組みや行政サービスについて学ぶセミナーを通して、彼らが地域について理解を深め、地域活動に必要なネットワークづくりの場の提供を目指すものである。

概要 市区町村職員、法律の専門家を招いてセミナーを行ない、その後参加者と意見交換を行った。本委託事業では、フィリピン人が多く居住する県下の三都市(名古屋市、一宮市、豊田市)にて実施した。なお実施にあたっては、各市町村で活動するフィリピン人自助組織の協力を得て、また市役所への依頼の際には、それぞれ名古屋国際センター・名古屋市役所国際交流課、一宮市国際交流協会、豊田市国際交流協会にご協力を頂いた。

(3) 受託団体の概要

団体名 フィリピン人移住者センター (Filipino Migrants Center/ FMC)

代表者名 石原バージ

所在地 〒460-0008名古屋市中区栄4-11-10東京ビル208号室

電話・ファックス 052-242-8360

概要 FMCは、全国でも珍しいフィリピン人自身が運営するNGOである。発足は2000年。フィリピン人の集住する名古屋市の栄地区に事務所をおき、6名の日本人・フィリピン人事務局スタッフを抱える。講師派遣、相談、イベント開催などの事業を行っているが、2003年より地域のフィリピン人リーダー育成にも取り組んでいる。

2 事業の実施状況 (実施期間、実施場所、実施体制、参加者 (対象者)、準備作業

、事業の具体的内容等)

各回の実施状況は以下のとおり。

だい1かい
<第1回>

- ・実施日時 2008年9月7日(日) 13時~17時
- ・実施場所 つながれとなごや
- ・参加者 46名(フィリピン人住民のほか名古屋市女性福祉相談員、NGO関係者を含む)
- ・共催団体 フィリピンソサエティジャパン(Philippe Society in Japan/PSJ)
ミグランテ名古屋(Migrante Nagoya)

ふいりびんじよせいしにあかい
フィリピン女性シニアの会(League of Filipino Senior Citizens/LFS)

- ・講師・内容 中区役所総務課・水野靖久氏「中区役所の仕組みについて」
ビデオ上映 国籍裁判に関するニュースを放映
行政書士・市野光信氏「戸籍を使用した手続きについて」
FMC・協力団体、参加者の団体紹介

だい2かい
<第2回>

- ・実施日時 2008年11月15日(土) 10時~15時
- ・実施場所 尾西生涯学習センター
- ・参加者 23名
- ・共催団体 一宮フィリピンコミュニティ(Ichinomiya Philippine Community/IPC)
- ・講師・内容 一宮市役所市民福祉部子育て支援課・木村光雄氏「児童手当・児童扶養手当などについて」
行政書士・市野光信氏「戸籍を使用した手続きについて」
FMC・協力団体の団体紹介

だい3かい
<第3回>

- ・実施日時 2009年1月18日(日) 13時~17時
- ・実施場所 豊田市青少年センター
- ・参加者 22名(フィリピン人住民のほか、豊田市国際交流協会関係者を含む)
- ・共催団体 豊田フィリピンコミュニティ(Toyota Filipino Community/ TFC)
- ・講師・内容 豊田市役所福祉保健部生活福祉課・兵藤寿八氏「生活保護について」
豊田市役所総合企画部国際課・粕谷浩二氏「児童手当・児童扶養手当などについて」
とよた男女共同参画センター・伊藤勝介氏「DV被害者支援制度」
行政書士・市野光信氏「戸籍を使用した手続きについて」
FMC・協力団体の団体紹介

ぜんかい たがろぐご つうやく
* 全回ともタガログ語の通訳をつけた。

ぜんかい かくしちようそん しゅつばん しせいほんどぶっく がいどぶっく きようせい
* 全回とも、各市町村が出版している市政ハンドブック、ガイドブック、行政

サービスに関する案内（英語またはタガログ語版）を配布した。

3 事業の実施による効果

・自治体と地域のコミュニティ・リーダーのネットワーク作りが可能となった

セミナー参加人数は当初の見込みよりは多くはなかったが、それぞれの地域で活躍するフィリピン人リーダー達に参加してもらえた。また土・日曜日の実施にも関わらず、すべての日程において、自治体の職員の方にお越し頂くことが出来た。リーダーが市役所の担当者と顔見知りになったことにより、今後の支援活動がスムーズにいくことが期待できる。

・フィリピン人女性にニーズの高い情報を提供することができた

母子手当て・母子扶養手当、生活保護、DV被害者支援など、フィリピン人女性にとって重要な行政サービスについて、手続きの詳細にわたって情報を提供することができた。とくに国籍法の改正については、国籍法専門の法律家を講師として呼ぶことができたため、最新の情報を提供することができた。

・外国人住民の地域づくりへの参画のきっかけとなった

本事業は、フィリピン人住民が運営するNGO・FMCが実施した。さらに実施の過程で、各地域のフィリピン人コミュニティ・リーダーも参加し、自治体職員の方には、あらためてフィリピン人自助組織の重要性を知って頂いた。また、講義後の意見交換をうけて、彼らがどんな問題を抱えているか、どんな情報が不足しているか、行政に対する要望など、彼らの「声」を直接お聞き頂いた。今後こうした取り組みを続けることは、外国人住民自身の組織化のみならず、地域づくりへの参加につながると思われ、多文化共生社会実現に大きく貢献すると思われる。

4 事業の実施に要した経費

概ね当初の予算内(50万円)で実施することができた。詳細は添付資料4「事業の実施に要した経費」を参照して頂きたい。

5 事業の継続・発展の見通し、今後の課題等

今後の課題 ・行政との連携

当団体では、当委託事業以外にもコミュニティ・リーダー研修を行ってきたが、これまではNGO・NPOの方に講師をお願いしていた。今回は、自治体の職員の方に

お願いしたため、依頼文書の作成など、当団体が不慣れな手続きも多かった。結果として依頼が直前になってしまうなど、各自治体に無理をお願いすることになってしまった。今後は、このようなことがないように、事務手続きにも注意を払いたい。

・参加者について

セミナーには、各都市の地域リーダーに参加してもらうことができたため、当初の目的はある程度達成できたといえるが、今後は将来のコミュニティ・リーダー候補として、こうした活動に関心のあるフィリピン人県民にも参加を促し、より一層の組織化をはかりたい。

・企画段階でのフィリピン人住民の参加

本事業は、まずFMCが各地域のフィリピン人自助組織に企画を持ち込み、自助組織のリーダーが講師や会場の手配を行ない、必要に応じてFMCがサポートを行なう、という方法で連携を進めた。今後は、講義の内容など、企画段階から各地域のリーダーらに関わってもらいたいと考えている。

・広報について

今回はチラシの作成・配布しか行なわなかったが、今後はメディア媒体に掲載するなどして、さらに多くの参加者を募りたい。

事業の継続・発展の見通し

本事業は来年度も継続の予定である。今後は、愛知県下の他市、とくにフィリピン人の居住者が多い都市（犬山市、豊橋市、岡崎市など）での開催を考えている。

また、研修のテーマについては、認知や母子に関する手当てなど、女性にニーズの高い話題は引き続き取り上げる予定である。ほかに、日系フィリピン人が多く居住する地域では、労働や雇用についても扱う予定である。

6. その他参考事項

- 添付資料 1 写真
- 添付資料 2 広報用チラシ（3回分）
- 添付資料 3 セミナー配布資料
- 添付資料 4 事業の実施に要した経費